

なるしよけい手数がかります
▼原稿を集めるのに苦労している
と思いますが、市民の声を吸いあ
げること、それは文芸でもなんでも
よい、市民参加のページづくり
で、それをやってみてはじめて広報は
生きてくる。

行政の解説より

市民の声を

▼広報からお願したいことは、
地区民の希望、願いを地区の方に
広報へ寄せるようお願いしてほしいで

すね
▼私は市の行政の解説よりも、市
民の声のつづいているとき、最も迫
力を感じます。市民の側からの行
政に対する要望などですね。それ
が広報の魅力づくりの第一だと思
います。

文化活動の

記事も

▼八ページの月二回発行ですので
どうしてもお知らせ記事でまよめ
ることになります。そのため市民
の声を中心とした企画記事にしわ
よせがいきますね。担当者として
も単調な「お役所広報」になるの
をおそれています。どちらかとい

うと、月一回で十六ページにすれ
ば、充実した内容のものがつくれ
るのではないかと、とも考えて
います。

ら、参加を呼びかける意味の原
稿をおたのみしてあります。が、
……
▼女性の「つくし」欄や市民の投
稿が増えたり、お知らせにふりま
わされたりで掲載がはかばかとい
います。
▼詩吟などは心身の鍛錬にもなる
し、老人クラブや、小中学校でも
はじめたらどうでしょうか。
▼文化活動の発展は、青少年の育
成のためにどうしても重要なこと
ですね。
▼私は六年間、行政相談員をやっ
ています。行政相談とか人権相談
とか毎月20日に後免町公民館でお
こなしていますが、その日時をの
せてほしいと思います。

市民あげての 祭典の復活を

南園市に市政がしかれて、早
や十数年、いつも思うことは県
下第二の都市南園市に

青年団だより

市民あげての行事がな
いということ。
市政十周年記念のと
き南園おどりを開催し
市民の大好評を得、盛
会のうちに終ったこと
も、まだ記憶に新らし
いことです。

しかし、その後不幸にも台風
十号などの災害による第一回を

行なっただけに終わってしまったこ
とは非常に残念なことです。

現在、市の各地区では公民館活
動の一環として地区青年団、婦人
団体などの主催で盆おどり大会が
盛況のうちに開催されております。

老いも若きも乱舞し、世代の差
を越えた踊りの輪は大きく広がり、
やがて踊りに酔った人々の心は一
つに解けあい、その時こそ人々の
心は「郷土は一つ」の連帯感が生
まれ、その力と和は明日の明るく
住みよい南園市の原動力となるこ

とでしよう。
ところで、昨年は新庁舎も落
成し、心新たに未来に向かって進
もうとしている私たちの南園市、
豊かな自然に囲まれた田園都市
取巻の秋も、いまたけなわとい
ったところがです。

県下第二の都市南園市にあま
たの市民が集い、「市民は一つ」
の連帯感が持てる市民の祭典が
ぜひ必要ではないかと思ひます。
市民に安らぎと、いこいの場
を与え一年間の労をねぎらい、
心から住みよい南園市にするた
めにも、南園おどりの復活、ひ
いては市民祭の開催というもの
を真剣に考えてみる必要がある
と思ひます。

血の通った

企画・内容

▼今年カラ梅雨で、台風の災害
がいつくるかわからない。市民か
ら連絡すれば危険箇所へ取材にき
てくれないでしょうか。
▼ぜひ、それはしなければならま
せんね。
▼広報は、市民みんなで作るもの
です。そのためには血の通った
企画・内容しなければなりません。
地区連絡員さんのご協力をい
ただきながら、よりよい広報紙つ
くりを励みたいと思ひます。

少年に愛の一声を

▼開放感や気のゆるみ、有害図書、ホン
ド・シンナーの乱用、非行少年からの誘
いなど、少年のまわりには、非行への
条件がたくさんあります。
▼わるい遊びを見かけたら、だれでも
その場でやさしくさとし、愛のひと
声をかけてやりましょう。

